

あいち農産物生産流通レポート

平成28年5月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・「あいち食育いきいきプラン2020(第3次愛知県食育推進計画)」を公表しました	(食育推進課) 1
◎ 地域トピックス	
・知多南部総合卸売市場の一般開放について	(知多農林水産事務所) 3
◎ 東日本情報	
・首都圏における県知事トップセールスの開催状況	(東京事務所) 4
◎ 西日本情報	
・第11次愛知県果樹農業振興計画を策定 ～魅力とやりがいのある果樹経営を目指して～	(園芸農産課) 6
◎ フラワーページ	
・フラリエみらい花フェスタについて	(園芸農産課) 8
◎ 青果	
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	11
・名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し	12
◎ 花き	
・切花・鉢花の5月の見通し(県内市場)	24
◎ 輸出入	
・主要農林水産物の輸出入実績(2016年2月)	28
◎ 関連指数	29

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6719

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

情報サロン

「あいち食育いきいきプラン 2020（第3次愛知県食育推進計画）」
を公表しました。

農林水産部食育推進課

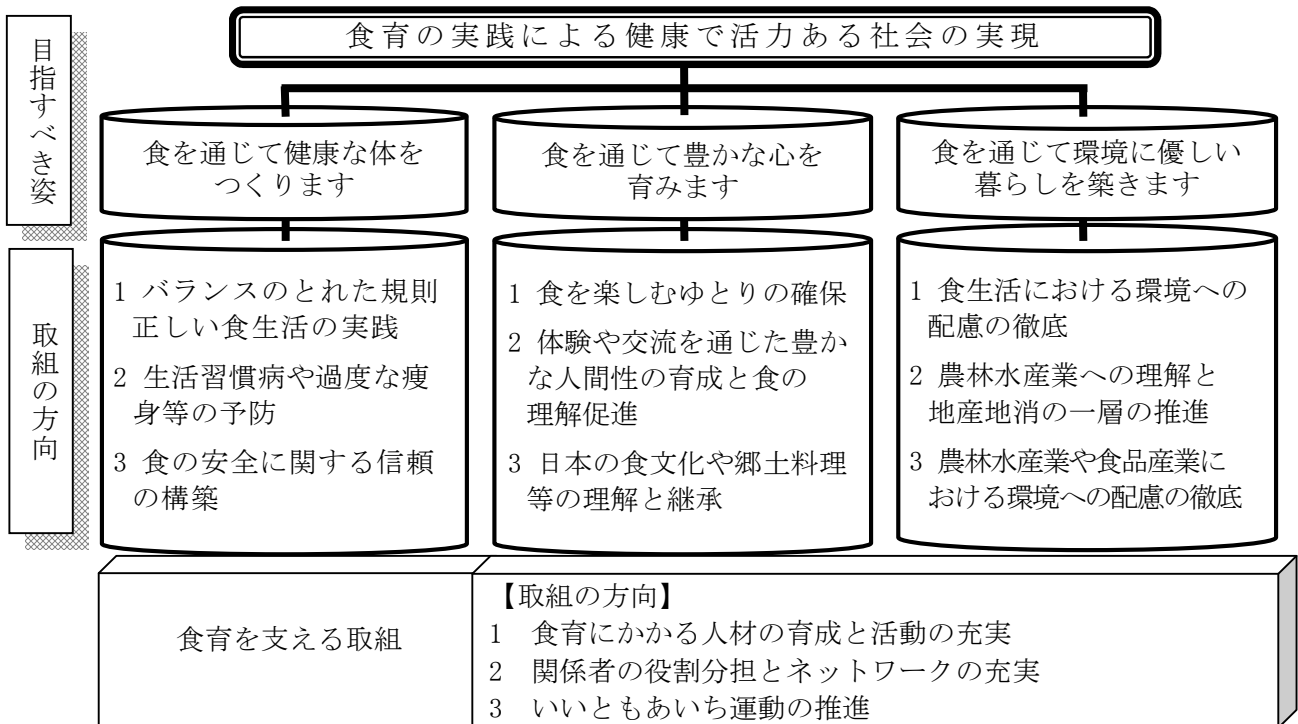
平成28年3月23日に開催された愛知県食育推進会議（県条例により設置、会長は県知事）において、本県における今後5年間（平成28年度～平成32年度）の食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン2020」が作成され、3月25日に公表しました。

今後はこのプランに基づき、保育所、幼稚園、認定こども園、学校、職場、地域のあらゆる場所や機会において、教育、保育、社会福祉、医療・保健、農林水産業、食品産業等の関係者が連携・協力して、食育に関する取組を総合的かつ計画的に推進してまいります。

◇ 食をめぐる現状と課題

- 20歳代を中心とした若い世代の食生活の乱れ、野菜摂取量が少ない、食文化の保護・継承、依然として発生している食品ロス、食育を学んだ人数の増加 等

◇ 目指すべき姿と取組の方向



◇ 県民の主体的な取組

- ライフステージに応じた取組

乳幼児期【体得】 ⇒ 少年・青年期【学習】 ⇒ 壮年・中年期【実行】 ⇒ 高齢期【伝承】

【主な新規・変更項目】

- ・食物アレルギーに関する知識を持つ
- ・毎日の食事に野菜を多く取り入れる
- ・家族や友人と食べる楽しさの経験
- ・子どもが学校等で学んだ知識等の家族での共有

◇ 県や関係団体等の取組

- 取組の方向に即し、関係者が連携・協力して食育の実践に向けた取組を推進

【主な新規・変更項目】

- ・野菜摂取量を増やす取組
- ・食生活の乱れがちな若い世代に対する啓発
- ・学校給食等における食物アレルギーへの対応
- ・郷土料理等地域の食文化の保護・継承

知多南部総合卸売市場の一般開放について

知多農林水産事務所

知多南部総合卸売市場一般開放実行委員会（以下、「実行委員会」という。）は、日頃は関係業者しか利用することができない市場について、安全安心な食品を届ける流通基地としての役割を一般のみなさんに知ってもらうため、4月24日（日）午前8時から午前11時まで一般開放「わくわく新鮮 市場の朝市」を開催しました。

○ PR及び来場者数

平成26年11月から半年毎に開催されてきた一般開放も今回で4回目となり、来場者も回を重ねるごとに増加しています。今回も、開始時間の午前8時前から来場者があり、11時に終了するまでに、約5,000人の来場者で賑わいました。これは、地元新聞への折込チラシ（28,800部）や各市町広報誌、地元新聞のタウン誌への広告掲載等の事前PRはもとより主婦仲間の口コミによる来場者もあるようで、市場の一般開放は少しずつ定着してきているようです。

○ 当日の概要

一般開放には、青果、精肉、水産、菓子、飲食販売など計29業者が出店し、新鮮な野菜や果物、魚などが販売されました。その中でも人気なのは、青果物、水産物コーナーで、特に地元日間賀島産の赤しゃえびが、飛ぶように売られていました。

また、子供に人気のコーナーは、おだんご半ぺんのつかみどりで、大人の方も参加して大変盛り上がっていました。



水産物コーナー

○ 今後の開催に向けて

開催後には、実行委員会で評価反省やアンケートを行っており、一般開放での利益はほとんど出ていないものの、市場を盛り上げるためにまた開催しようという意見が多いとのこと。

今後は物販だけではなく、子供向けのイベントや体験コーナーを開催することにより、幅広い年代に来場してもらい、一般開放を地元のイベントとしてより定着させるとともに、市場のテナント数が減少する中、関係業者にも関心を持ってもらい、テナント誘致につながっていくことを期待しています。



半ぺんつかみどり

首都圏における県知事トップセールスの開催状況

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

平成28年3月1日現在（推計）、首都圏における東京都の人口は1,354万人、埼玉県は726万人、神奈川県は913万人、千葉県は622万人であり、1都3県で約3,600万人が生活している非常に大きな消費地になっています。また平成27年の東京都中央卸売市場における青果物、花きの総取扱額は、6,548億円でした。このような大きな消費地において、毎年たくさんの農産物等PR活動が行われています。今回は最近の県知事トップセールス開催状況について報告します。

○ トップセールスの開催状況

首都圏における県知事のトップセールスは、ここ数年17県が開催していました（表1）。その主な目的は、市場においては県産農産物の市場関係者（せり人や仲卸業者、買参人等）へのPR、量販店や百貨店等においては消費者へのPRを行って県産農産物のファンになってもらい、取扱量の増加や継続的に購入していただくというものだと思います。

最近の知事トップセールスの開催結果から、4年間継続して開催しているのは、山形県（以下県を省略）、茨城、埼玉、千葉、山梨、愛知、岡山、香川、福岡の9県でした。主な作物は、山形ではサクランボ、茨城はメロンやトマト、ねぎ等、埼玉は小松菜やホウレンソウ等、千葉はキュウリやほうれんそう等、山梨は桃、本県はキャベツやトマト等、岡山はブドウ、福岡はいちご等でした。

トップセールスの対象者については、消費者と市場関係者に大別されました（図1）。各対象者別の開催回数については、市場関係者に対する活動は大きな変化なく安定しており、消費者に対す

表1 知事トップセールスの開催結果

no.	県名	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
1	青森	○	○		○
2	秋田	○	○		○
3	山形	○	○	○	○
4	福島			○	○
5	茨城	○	○	○	○
6	栃木	○	○		
7	群馬	○		○	○
8	埼玉	○	○	○	○
9	千葉	○	○	○	○
10	石川		○	○	○
11	山梨	○	○	○	○
12	愛知	○	○	○	○
13	奈良	○	○	○	
14	鳥取			○	
15	島根		○		
16	岡山	○	○	○	○
17	香川	○	○	○	○
18	愛媛	○			○
19	高知	○			
20	福岡	○	○	○	○
21	佐賀	○			
22	長崎		○	○	○
23	大分		○	○	○
24	沖縄			○	
計		17	17	17	17

※愛知県東京事務所調べ

る活動は年度によって増減していました。

トップセールスの主な品目は、果物が多くを占めていました。野菜と果物を複合的にPRしたり、観光とあわせてPRする事例もありました。

本県は、春に向けて野菜・果物・花きを複合的に都内で継続してPRしており、27年度には観光とあわせたPRも行いました。28年度についても知事トップセールスを計画しており、首都圏にて、より多くの愛知ファンづくりをめざし、取り組んでまいります。

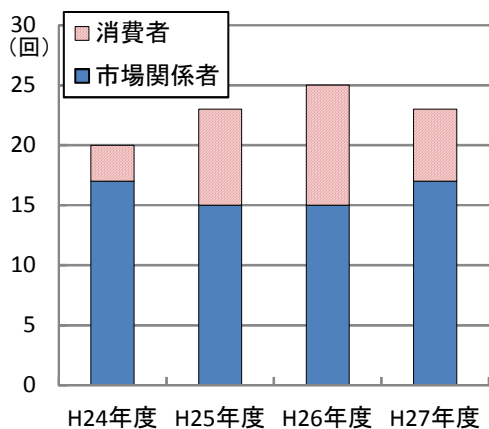


図1 トップセールスの対象者

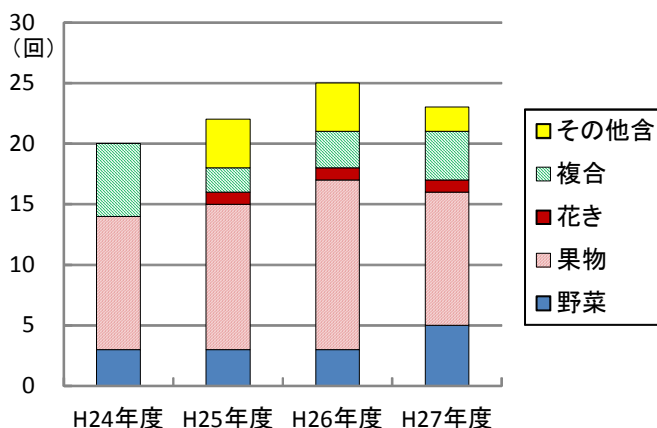


図2 トップセールスの主な品目

第 11 次愛知県果樹農業振興計画を策定 ～魅力とやりがいのある果樹経営を目指して～

農林水産部園芸農産課

愛知県では、魅力とやりがいのある果樹経営の確立と本県の特徴を生かした果樹農業の振興を目指して、平成 28 年 3 月に「愛知県果樹農業振興計画」を策定しましたので、その概要を紹介します。

1 果樹農業振興計画とは

「果樹農業振興特別措置法」に基づく県の振興計画として策定するものです。
また、県の「食と緑の基本計画 2020」の果樹分野の個別計画に位置づけます。

2 計画の概要

(1) 計画期間

平成 28 年度から 10 年間【目標年度：平成 37 年度】

(2) 振興する品目【12 品目】

主要品目 …うんしゅうみかん、ぶどう、なし、もも、かき、いちじく
〔産出額が多い品目〕

地域を支える果樹 …その他かんきつ類、くり、うめ、キウイフルーツ、ぎんなん、ブルーベリー
〔地域の特産品等〕

(3) 現状と課題

生産

生産量日本一のいちじくのほか、ハウスみかん、次郎柿などブランド力を持った産地を形成していますが、栽培面積は減少し、産出額も横ばいとなっています。

ブランド品目を中心に本県果樹の生産力・供給力の強化が必要

担い手

果樹生産農家は、10 年間で約 2 割減少しており、今後も大幅に減少する見込みです。

基幹経営体の育成に加え、多様な担い手の確保・育成が必要

消費

果実摂取量は、健康増進の観点から望ましいとされる 200g/人・日を大幅に下回っています。

果物を毎日の食生活に欠かせない品目として定着させることが必要

(4) 目 標

	現状 (H26)	→	中間目標 (H32)	→	目標 (H37)
栽培面積	5, 000ha	→	4, 820ha	→	4, 600ha
生産量	63, 592 t	→	62, 530 t	→	61, 230 t
産出額	175億円	→	175億円		

(5) 目標を実現するための主な施策

「魅力とやりがいのある果樹経営の確立」と「本県の特徴を生かした果樹農業の振興」を目指し、次の3つを施策の柱として推進します

I 果樹経営の強化と多様な担い手の確保・育成

1 果樹経営の強化

- マーケットインの視点により優良品種等への転換を推進
- 産地パワーアップ事業等を活用し経営基盤を強化
ハウスみかん栽培施設、いちじく雨除け施設の整備
- 作業請負など労働力を補完する仕組みづくりを支援



いちじくの雨除け施設

2 多様な担い手の確保・育成

II 果樹産地の生産・供給力の強化

1 高品質・安定生産に資する新技術等の開発と普及

- 高品質・安定生産技術の確立、県オリジナル品種の育成・普及
- 国事業等を活用し優良品種への改植等を推進
ぶどう「シャインマスカット」、本県育成のかんきつ「夕焼け姫」等



県育成かんきつ品種「夕焼け姫」

2 集出荷貯蔵施設等整備の推進

- 計画的な集出荷貯蔵施設等の整備を推進

3 地球温暖化適応策・鳥獣被害対策等の推進

III 本県産果実の魅力高め伝える取組の推進

1 ブランド化の推進

2 6次産業化の推進

- 酒税法の特例措置等を活用したワイン生産の取組を支援

3 環境と安全に配慮した果樹生産の推進

4 輸出等の取組拡大

- 東南アジアをターゲットにした展示会・商談会等の機会を提供



輸出拡大に向けた商談会

5 食育の推進

3 計画の公表

果樹農業振興計画は園芸農産課Webページに掲載しています。

(<http://www.pref.aichi.jp/engei/kakusyu-keikaku/index.html>)

フラリエみらい花フェスタについて

農林水産部園芸農産課

愛知県は、昭和 37 年以来 53 年連続で花の生産が日本一を誇る花の王国であり、県民の皆さんにあいちの花を暮らしに取り入れていただくために「花いっぱい県民運動」を関係団体等と実施しています。また、「あいちの花」の魅力を身近に感じていただくため、花と緑のイベントとして「あいち花フェスタ」を県内各地で平成 24 年度から開催し、昨年秋に長久手市の愛・地球博記念公園で開催しました「第 32 回全国都市緑化あいちフェア」へとつなげてきました。

このたび、盛況裏のうちに終了したこのフェアの成果を引き継ぎ、花と緑に囲まれた暮らしの豊かさを体験できるイベントとして「フラリエみらい花フェスタ」が下記のとおり開催されましたので紹介します。

1 開催概要

(1) 実施主体

フラリエみらい花フェスタ実行委員会

〈共催〉

愛知県、名古屋市、中日新聞社、(公財)名古屋市みどりの協会、愛知県花き温室園芸組合連合会、愛知県花きイノベーション地域協議会

(2) 開催日

平成28年 4月15日（金）～平成28年 4月17日（日）

午前9時～午後5時

※メイン展示、ガーデニングコンテスト展示は平成 28 年 4 月 24 日（日）まで

(3) 実施場所

久屋大通庭園フラリエ（名古屋市中区大須四丁目 4 番 1 号）

(4) 企画内容

- 主催者展示、公開講座
- ガーデニングコンテスト（若手アーティストの登竜門）（19出展）
- 公園を彩るオシャレな大型展示
- 草花・ガーデニンググッズの販売
- セミナー・体験コーナー（コケ玉作り体験教室）

2 主な行事内容

日時	内容	
<p>日時：4月15日（金）</p> <p>午前9時から 午前9時30分まで</p>	<p>○オープニングセレモニー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来賓祝辞 知事が来賓を代表して祝辞を述べられました。 ・吉谷桂子*さんによるメインガーデンの紹介 <p>※全国のガーデニングショーや各種女性誌、園芸番組などで活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テープカット (写真の左から) <p>大村秀章 愛知県知事 涌井雅之 実行委員会委員長 吉谷桂子 英国園芸研究家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングセレモニーに引き続き、知事が若手ガーデンデザイナーによる作品(19作品)を視察されました。 	   
<p>日時：4月17日（日）</p> <p>3回開催</p> <p>①午前10時～ ②午後1時～ ③午後3時～</p>	<p>○コケ玉作り体験教室</p> <p>愛知県花き温室園芸組合連合会(愛知県の花き生産者団体)によるコケ玉作り体験教室に計93名が参加しました。</p>	

3 その他

県では、県民参加型の花のイベントとして平成28年11月に弥富市で「あいち花フェスタ2016」の開催を予定しています。是非、御参加ください。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：みつば）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
27年実績	501	489 (98%)	658	657	静岡 (2%)
28年見通し	500	—	580	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>尾張を中心に水耕で周年栽培されている。近年はみつばから水菜やサンチュなどに作付け変更をしている農家が多く、出荷量は増えていない。昨年は野菜全体の高値に引っ張られ、高単価となったが、今年は例年並み。入荷量は前年並み、単価は高かった前年をかなり下回る見込み</p>			<p>若い人を中心に需要は減少している。食べ方を知らない人が多く、お吸い物だけでなく、味噌汁やおひたしなど食べ方の提案、宣伝が必要。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ペコロス）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
27年実績	224	19 (8%)	546	1,155	北海道(75%) ニュージャーラント(14%)
28年見通し	225	—	535	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>入荷量は22年と27年を比較すると全体では85%に減少し、本県産は41%と大幅に減少している。今年の1～3月の入荷量は58t（前年対比101%）で平均単価は493円/kg（同95%）だった。本県産は前年同様4月21日から入荷が始まり、5月から入荷ピークを迎えると思われる。入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>			<p>ペコロスは、業務向けを中心に安定した需要がある。中心産地である北海道の入荷がなくなる5～7月の愛知産に対する期待は大きく、また品質的に評価が高いことから、多くの安定した入荷量が求められている。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し

名古屋市中央卸売市場

4月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	23年	36,170	189	187	190	191	愛知 29%
	24年	37,549	208	211	210	203	茨城 9%
	25年	36,875	178	194	182	165	徳島 7%
	26年	34,019	219	223	218	216	長野 7%
	27年	32,052	269	279	266	263	
	5ヵ年平均	35,333	213	—	—	—	
	28年見通し	33,800	212	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は地元愛知が中心。全国的に暖冬の影響で生育が前進化している。特に、北日本や高冷地の出始めが早まる見込み。九州産も地震の影響は少ない。全体的に生育は順調。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							
だいこん	23年	2,286	58	51	54	78	愛知 81%
	24年	2,530	98	87	115	97	千葉 8%
	25年	2,360	69	78	71	67	鹿児島 4%
	26年	2,041	84	79	89	93	長崎 3%
	27年	2,099	103	126	101	90	
	5ヵ年平均	2,263	82	84	86	85	
	28年見通し	2,100	100	100	100	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知が中心に鹿児島、長崎、千葉などから入荷する。全国的に作付け量は前年並みで、生育は前進傾向である。愛知は海部を中心に順調な出荷が見込まれる。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。							
にんじん	23年	2,591	129	147	130	114	徳島 86%
	24年	2,643	121	119	115	131	岐阜 9%
	25年	2,444	116	124	114	111	熊本 1%
	26年	2,526	118	116	115	123	北海道 1%
	27年	2,239	147	131	138	171	
	5ヵ年平均	2,489	126	127	122	129	
	28年見通し	2,400	130	130	130	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
徳島中心に、岐阜、愛知から入荷する。各地ともに今年は、まき直しをしっかりとやったので昨年のような数量の落ち込みは無い見込み。岐阜は暖冬の影響で出始めが早まり、5月下旬にはしっかりと数量が出てくる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む、「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。※印は4カ年平均。

東京都中央卸売市場

4月27日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	23年	136,710	201	199	195	232	千葉 19%
	24年	146,994	220	218	226	217	茨城 16%
	25年	145,709	192	203	190	184	佐賀 5%
	26年	138,940	233	234	235	230	栃木 5%
	27年	129,348	277	291	276	265	長崎 5%
	計	5カ年平均	139,540	224	—	—	—
28年見通し	133,000	250	—	—	—		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。土物類、果菜類は西南暖地からの入荷が本格化する。4月中旬からの気温上昇の影響で葉茎菜類の生育が前進傾向、果菜類の生育が回復してきた。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
だい	23年	9,642	64	55	57	81	千葉 75%
	24年	10,728	97	85	114	96	茨城 11%
	25年	9,623	72	89	70	56	青森 6%
	26年	10,543	77	74	83	76	栃木 3%
	27年	10,248	104	136	107	75	鹿児島 1%
	計	5カ年平均	10,157	83	88	87	77
28年見通し	10,300	88	85	90	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城からの入荷が中心となる。千葉は、トンネル物が終了する。各産地とも生育良好なため順調出荷が期待できる。関東産はピークを過ぎ徐々に減少していく。青森は中旬頃から入荷の見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
に	23年	8,730	138	152	140	138	徳島 66%
	24年	8,894	127	126	120	135	千葉 21%
	25年	8,380	126	129	124	124	埼玉 3%
	26年	7,961	130	125	124	140	中国 2%
	27年	7,481	154	138	145	180	長崎 2%
	計	5カ年平均	8,289	135	134	130	142
28年見通し	7,300	140	150	140	130		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>徳島、千葉からの入荷が中心となる。徳島は天候不順で収穫作業が遅れており、連休明けにピークがくる模様。千葉は生育良好で中旬から出荷が本格化、少なかった前年を上回る見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	23年	1,766	55	52	48	69	茨城 66% 愛知 22% 長野 8%
	24年	1,825	74	58	84	91	
	25年	1,669	53	68	49	45	
	26年	1,506	61	59	61	67	
	27年	1,640	179	188	199	144	
	5ヵ年平均	1,681	84	84	88	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,600	75	75	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城中心に、愛知、長野などから入荷する。茨城は順調な生育で4月中旬から入荷が増えている。愛知は尾張地域から入荷するが、中旬までで終了予定。中旬以降は入荷がはじまる長野の松本、佐久は面積減少傾向だが生育は順調。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>ほうきの数量（トン）と単価（円/kg）の推移。数量は6月～10月にかけて増加傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。単価は6月～10月にかけて上昇傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。</p>					
キャベツ	23年	4,061	55	62	49	57	愛知 63% 茨城 20% 神奈川 4% 宮崎 3%
	24年	4,396	113	91	171	101	
	25年	3,966	70	96	71	52	
	26年	3,779	86	88	97	78	
	27年	3,311	185	264	216	107	
	5ヵ年平均	3,903	99	115	119	78	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,800	90	100	90	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知中心に茨城、神奈川などから入荷する。気温も高く、適度な降雨もあり、生育は1週間ほど前進傾向で進んでいる。しかし、品質的には下ものが多い。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>キャベツの数量（トン）と単価（円/kg）の推移。数量は6月～10月にかけて増加傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。単価は6月～10月にかけて上昇傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。</p>					
ほうれんそう	23年	244	448	355	444	533	岐阜 58% 愛知 19% 茨城 16%
	24年	260	503	418	565	545	
	25年	283	467	495	515	420	
	26年	232	501	457	572	496	
	27年	256	551	525	556	548	
	5ヵ年平均	255	494	452	530	507	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	285	500	480	520	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜中心に、愛知、茨城などから入荷する。岐阜は昨年は積雪の影響で入荷が少なかったが、今年は雪が少なく、しっかりした入荷が見込まれる。愛知は、生育良好でやや前進している。作付けはやや減少。GW明けに終了。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>ほうれんそうの数量（トン）と単価（円/kg）の推移。数量は6月～10月にかけて増加傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。単価は6月～10月にかけて上昇傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	23年	5,860	32	28	27	47	茨城 93%
	24年	6,955	59	43	63	71	群馬 3%
	25年	6,537	37	49	35	27	長野 2%
	26年	5,767	48	48	49	49	
	27年	5,041	142	151	173	106	
さい	5ヵ年平均	6,032	61	60	66	58	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	5,300	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に、群馬、長野から入荷する。茨城、群馬は気温高の影響で前進出荷傾向。生育良好で肥大良好なことから順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>ほうきの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は6月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～5月にかけて減少傾向にあります。単価は6月～12月にかけて上昇傾向にあり、1月～5月にかけて減少傾向にあります。</p>					
キャベツ	23年	17,775	52	57	43	60	千葉 44%
	24年	20,493	94	77	121	91	神奈川 28%
	25年	19,217	61	70	62	48	愛知 15%
	26年	17,757	81	79	95	72	茨城 10%
	27年	16,562	149	170	165	112	兵庫 1%
べつ	5ヵ年平均	18,361	86	89	96	76	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	17,000	100	120	100	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、神奈川、愛知、茨城からの入荷が中心となる。各産地とも生育良好で順調出荷が期待できる。神奈川は前進出荷から入荷は少なくなる見込み。愛知はピークを過ぎ終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>キャベツの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は6月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～5月にかけて減少傾向にあります。単価は6月～12月にかけて上昇傾向にあり、1月～5月にかけて減少傾向にあります。</p>					
ほうれんそう	23年	1,344	379	310	389	442	群馬 36%
	24年	1,338	472	416	626	416	茨城 32%
	25年	1,602	373	478	376	303	埼玉 9%
	26年	1,356	458	447	533	414	岩手 8%
	27年	1,456	467	467	466	469	千葉 6%
れん	5ヵ年平均	1,419	428	426	474	406	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,470	457	500	470	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東産地を中心に岩手からも入荷する。関東産地は気温高の影響で前進出荷傾向。群馬は生育良好で、埼玉は軟弱気味。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
		<p>ほうれんそうの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は6月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～5月にかけて減少傾向にあります。単価は6月～12月にかけて上昇傾向にあり、1月～5月にかけて減少傾向にあります。</p>					

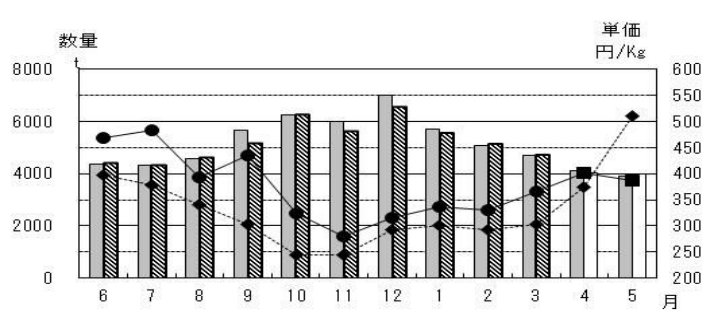
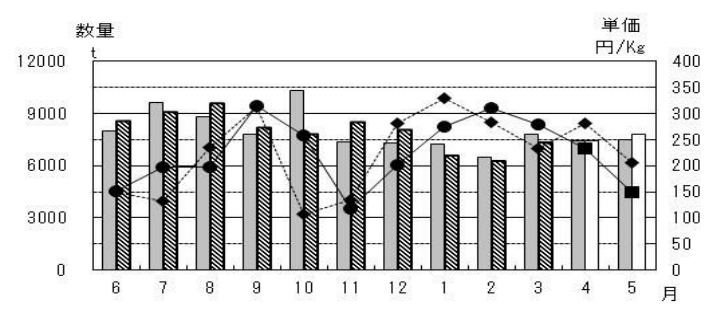
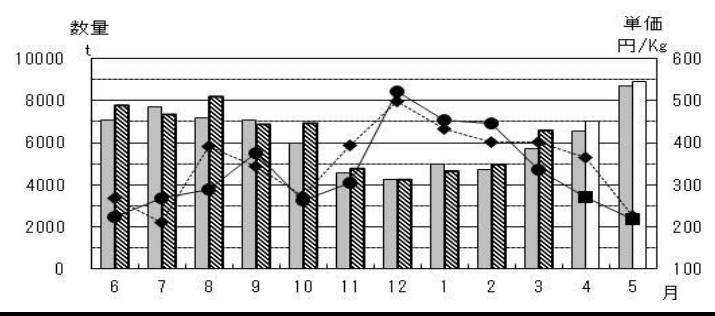
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	783	328	316	323	365	愛知 25%
	24年	778	390	392	399	392	大分 17%
	25年	765	356	374	352	376	鳥取 17%
	26年	679	416	416	428	430	茨城 6%
	27年	644	514	506	547	518	
	5ヵ年平均	730	396	397	404	412	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	620	500	500	550	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>普通ねぎは愛知、白ねぎは鳥取、大分、静岡中心に入荷する。愛知は秋冬作がGW明けで終了し、続けて新物の夏ネギに移行する。天候の影響で作況はあまり良くなく、高齢化で面積も減少傾向である。白ねぎも各産地減少傾向、特に静岡は天候の影響で3割の減少が見込まれる。大分は病害が多く少ない。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
し	23年	1,713	122	133	108	136	長野 50%
	24年	1,863	195	194	211	189	兵庫 28%
	25年	1,873	155	203	144	128	茨城 17%
	26年	1,876	161	176	160	153	愛知 2%
	27年	1,937	222	271	183	227	
	5ヵ年平均	1,852	172	197	162	168	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,900	180	200	180	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に兵庫、茨城などから入荷する。長野は4月下旬から準高冷地物から順に出てくる。生育は順調。茨城は上旬でほぼ終了。兵庫も上旬で終了する。入荷量は前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅう	23年	1,939	224	181	220	276	愛知 39%
	24年	2,044	222	227	261	198	群馬 17%
	25年	2,244	158	191	162	153	長野 12%
	26年	1,845	241	254	249	229	高知 11%
	27年	1,903	227	220	245	225	
	5ヵ年平均	1,995	212	214	225	214	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,850	230	230	230	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に群馬、高知、宮崎などから入荷する。愛知は灰かびなどの病害の発生も増えてきているが昨年よりは出る見込み。関東産は4月下旬から増加し、入荷が見込まれる。西南暖地の生育は良好で横這いの入荷が続くと思われる。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並の見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	4,297	344	-	-	-	茨城 34%
	24年	4,500	362	414	316	359	千葉 28%
	25年	4,340	333	326	311	358	埼玉 12%
	26年	4,316	383	371	383	394	中国 6%
	27年	3,899	511	497	547	486	栃木 4%
ねぎ	5ヵ年平均	4,270	384	319※	307※	317※	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,000	387	390	390	380	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城、千葉など関東産地からの入荷が中心となる。茨城と千葉は前進出荷傾向で生育良好、太物の発生が多い模様。埼玉は病害が多く早めに切り上がる見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
し	23年	7,067	117	121	107	126	茨城 36%
	24年	7,804	180	171	202	171	長野 34%
	25年	7,922	141	168	133	122	群馬 20%
	26年	8,159	140	143	137	140	兵庫 3%
	27年	7,531	205	242	169	205	栃木 2%
し	5ヵ年平均	7,697	157	169	150	153	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	7,800	150	150	150	150	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城、長野、群馬からの入荷が中心となる。茨城、長野は気温高で前進出荷傾向。茨城は大玉傾向で順調出荷が期待できる。群馬は中旬以降に本格的な出荷が始まる見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅう	23年	7,906	222	182	208	268	埼玉 29%
	24年	8,816	225	231	273	186	群馬 22%
	25年	8,975	169	198	159	152	茨城 13%
	26年	8,026	265	281	277	241	千葉 10%
	27年	8,711	227	214	245	221	宮崎 8%
きゅう	5ヵ年平均	8,487	221	221	232	212	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	8,900	217	210	210	230	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>埼玉、群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。埼玉は施設再建が進み作付け増。群馬は出荷ピークを迎える。各産地とも生育良好なため順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	23年	1,320	262	275	249	267	愛知 40%
	24年	1,272	259	258	246	279	熊本 39%
	25年	1,222	266	294	278	240	宮崎 16%
	26年	1,179	294	299	294	294	高知 5%
	27年	1,098	353	370	345	351	
	5ヵ年平均	1,218	285	297	280	284	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,175	335	375	325	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知の千両、熊本、宮崎の長なす中心に入荷する。愛知は灰色かびなどの病害の発生はあるものの昨年ほど悪くはない。九州産は地震は懸念されるが、着花もまずまずでGW明けにかけて入荷が増える見込み。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。							
ト マ ト	23年	1,961	193	227	177	195	熊本 49%
	24年	1,779	343	391	327	323	愛知 23%
	25年	1,995	237	282	263	197	三重 14%
	26年	1,925	288	311	303	266	岐阜 9%
	27年	1,664	354	372	339	350	
	5ヵ年平均	1,865	279	313	279	262	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,900	290	300	280	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、熊本、三重中心に入荷する。徐々に増加する時期だが、4月はさほど増えなかった。熊本は地震の影響が懸念されるが、出荷量への大きな影響はない見込み。愛知は長期作型が増え、小玉割合が増える。入荷量は前年をかなり上回るものの平年並で、価格は高かった前年を大幅下回る見込み。							
ニ ン ジ ン	23年	496	435	450	428	401	熊本 54%
	24年	530	585	670	510	549	愛知 36%
	25年	561	499	523	493	461	和歌山 7%
	26年	575	558	590	541	540	宮崎 2%
	27年	501	627	617	605	659	
	5ヵ年平均	533	541	571	516	522	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	550	550	600	550	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本、愛知を中心に和歌山などからも入荷する。トマト同様に各産地ともに気温の上昇とともに出荷量が増え、5月は順調な入荷が見込まれる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
な	23年	4,384	314	-	-	-	高知 44%
	24年	4,476	313	310	296	331	福岡 18%
	25年	4,576	296	343	307	254	群馬 11%
	26年	4,438	366	385	380	343	熊本 6%
	27年	4,099	396	390	405	394	栃木 5%
す	5ヵ年平均	4,395	336	356※	346※	329※	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,300	380	400	380	360	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>高知、福岡、群馬などからの入荷が中心となる。高知は着果良好で好天とともに増量する見込み。福岡は中旬頃から出荷ピークとなる。群馬は生育良好で前年以上の出荷を見込む。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ ト	23年	10,045	235	252	232	264	栃木 24%
	24年	9,331	363	403	340	344	熊本 22%
	25年	10,872	253	287	275	214	愛知 10%
	26年	10,465	300	326	311	272	千葉 10%
	27年	8,964	357	380	336	356	茨城 8%
ト	5ヵ年平均	9,935	299	327	297	286	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	9,300	340	380	340	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>栃木、熊本、愛知、千葉などからの入荷が中心となる。気温上昇にともない長期作型は生育が回復し、半促成作型の出荷が本格化する。熊本は地震による入荷量の影響は小さい模様。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ニ ュ ー ト ン	23年	1,864	376	397	383	408	熊本 37%
	24年	1,982	548	642	491	511	愛知 24%
	25年	2,230	448	493	458	403	宮崎 10%
	26年	2,288	523	552	522	499	千葉 10%
	27年	1,917	607	594	580	650	静岡 5%
マ ト	5ヵ年平均	2,056	501	536	488	492	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,000	520	540	520	500	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>熊本、愛知、宮崎、千葉からの入荷が中心となる。主要産地は気温上昇にともない生育は回復傾向で順調な出荷が期待できる。熊本は地震による入荷量の影響は小さい模様。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	757	194	217	193	224	宮崎 41%
	24年	824	296	393	296	261	鹿児島 24%
	25年	821	241	361	251	191	茨城 22%
	26年	860	242	290	250	224	高知 13%
	27年	702	382	592	389	303	
	5ヵ年平均	793	269	366	273	239	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	740	300	300	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、鹿児島、高知中心に入荷する。西南暖地が下旬まで続くが天候次第では前進する。その後は茨城からの入荷へ移行する。茨城は着花にバラツキがあったが、生育は順調な見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ばれいしよ	23年	4,218	194	209	230	165	長崎 50%
	24年	4,030	110	162	111	90	鹿児島 40%
	25年	3,844	94	104	101	91	北海道 5%
	26年	3,512	126	143	130	122	静岡 3%
	27年	3,185	219	232	205	226	
	5ヵ年平均	3,758	147	169	155	136	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,300	170	170	170	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長崎、鹿児島中心に北海道、静岡から入荷する。鹿児島は1月の雪の影響で15%程減少見込み。長崎は昨年よりも15%ほど増加も平年よりは少ない。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	23年	4,515	70	88	73	58	愛知 59%
	24年	4,393	88	90	83	92	北海道 24%
	25年	5,049	61	61	61	61	兵庫 12%
	26年	4,027	103	109	110	95	中国 1%
	27年	4,133	117	102	113	145	
	5ヵ年平均	4,424	86	89	86	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,500	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、北海道、兵庫中心に入荷する。北海道の残量が5月も残り安値推移が見込まれる。愛知はやや前進、大玉傾向で生育順調だが分球が多い。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	2,492	219	227	200	238	茨城 73%
	24年	2,621	330	393	304	295	宮崎 11%
	25年	2,701	272	362	259	202	高知 10%
	26年	2,836	277	335	260	237	鹿児島 6%
	27年	2,509	412	577	382	320	
マ	5カ年平均	2,632	301	378	280	257	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,600	333	400	300	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城を中心に、宮崎、高知、鹿児島からの入荷となる。茨城は一部地域で成り疲れがあるが気温上昇にともない生育は回復する見込み。着花状況良好なことから前年以上の出荷見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	23年	9,534	207	191	222	208	長崎 55%
	24年	12,363	112	147	106	94	鹿児島 23%
	25年	10,682	101	96	104	105	北海道 12%
	26年	10,388	133	138	129	132	熊本 5%
	27年	8,925	216	205	204	239	静岡 3%
い	5カ年平均	10,378	149	153	148	150	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	9,300	187	200	180	180	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道に変わり長崎、鹿児島からの入荷が中心となる。長崎は連休明けから量がまとまってくる見込み。九州産は少なかった前年よりも出荷量は多い模様。北海道は前進出荷で少なくなる見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
たまねぎ	23年	14,244	78	95	86	59	佐賀 53%
	24年	14,161	100	102	97	100	兵庫 16%
	25年	15,134	65	64	67	66	北海道 8%
	26年	13,029	127	129	129	123	千葉 6%
	27年	12,350	128	121	123	139	中国 3%
ね	5カ年平均	13,784	98	101	99	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	13,000	103	90	110	110	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道に変わり佐賀、兵庫、千葉からの入荷が中心となる。佐賀は中旬にマルチから露地に切り替わる見込み。兵庫は大玉傾向で中旬から出荷が本格化する。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	23年	9,703	318	330	314	315	熊本 31%
	24年	9,242	340	367	343	315	フィリピン 21%
	25年	9,347	328	345	317	328	青森 13%
	26年	8,285	382	399	374	381	ニュージーランド 8%
	27年	7,141	419	423	416	419	愛知 8%
	5ヵ年平均	8,744	353	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	7,700	380	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、フィリピン、青森を中心に入荷する。りんごは中旬からジョナゴールド、ふじが中心の入荷となる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
その他メロン (アールスメロン以外)	23年	1,267	311	352	322	297	熊本 69%
	24年	993	368	437	379	344	メキシコ 16%
	25年	1,223	332	382	315	333	愛知 6%
	26年	1,076	387	448	365	373	
	27年	818	455	482	465	429	
	5ヵ年平均	1,076	363	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	850	400	450	400	380	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本を中心にメキシコ、愛知などから入荷する。愛知はイエローキングが中心となる。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>						
すいか	23年	1,905	217	221	214	217	熊本 93%
	24年	1,826	248	280	244	226	愛知 6%
	25年	1,997	222	243	216	207	
	26年	1,742	249	264	254	237	
	27年	1,424	290	296	294	285	
	5ヵ年平均	1,779	242	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,500	230	240	230	220	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本を中心に入荷。前年は雨の影響で入荷が少なかったが、今年は平年並みに回復する見込み。 入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>						

注) 「その他メロン」はメロン類からアールスメロンを除いたもの。
 ※印は4カ年平均。

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	23年	30,218	342	374	336	320	熊本 25%
	24年	29,035	369	401	362	347	青森 14%
	25年	29,429	357	376	355	343	フィリピン 11%
	26年	29,586	398	412	394	388	茨城 10%
	27年	26,394	439	460	470	432	愛媛 8%
	5カ年平均	28,932	380	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	29,000	400	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	すいか、メロンを中心にハウスみかん等入荷する。ハウスみかんは加温面積が拡大した産地もあり前年より入荷量は増加傾向。露地びわは主力の長崎県で1月の低温により入荷量は前年を下回る見込み。 入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。						
その他	23年	3,714	386	—	—	—	茨城 62%
	24年	2,877	439	561	476	370	熊本 32%
	25年	3,452	392	420	383	381	メキシコ 3%
	26年	3,487	443	494	463	406	長崎 1%
	27年	2,709	528	619	550	467	
	5カ年平均	3,248	433	516※	463※	404※	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,400	450	520	470	400	
メロン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	茨城、熊本を中心にアンデスメロン、クインシーメロン等が入荷する。茨城は生育が前進傾向で入荷量増加の見込み。熊本は年明けの低温で出遅れは見られたがその後の好天で順調な入荷が見込まれる。地震の影響は少ない。入荷量は前年を大幅に上回り、単価は高かった前年をかなり下回る見込み。						
すいか	23年	6,141	227	246	232	211	熊本 73%
	24年	6,239	254	287	259	232	千葉 12%
	25年	6,405	237	252	241	229	茨城 11%
	26年	6,421	258	266	265	249	群馬 2%
	27年	5,954	300	305	300	296	
	5カ年平均	6,232	255	271	259	243	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	6,300	260	270	260	240	
いか	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本中心に茨城、千葉から入荷する。各産地とも生育は順調。熊本は地震の影響は少ない。千葉は下旬にハウスものがピークを迎える見込み。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						

切花・鉢花の5月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 4月30日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪ぎ	実績	23年	2,084	38	
		24年	1,838	46	
		25年	2,063	40	
		26年	1,693	39	
		27年	1,739	53	
	5ヶ年平均	1,883	43		
28年見通し	1,800	50			
概要	愛知、三重、沖縄等から入荷。愛知は平年よりやや早く夏菊の出荷も始まり、中旬以降増加してくると思われる。一般需要は弱く、業務用需要主体の動き。				
小ぎ	実績	23年	998	35	
		24年	1,147	28	
		25年	1,111	25	
		26年	1,160	22	
		27年	1,374	27	
	5ヶ年平均	1,158	27		
28年見通し	1,350	27			
概要	沖縄、愛知から入荷。愛知の生育は順調で中旬から増えてくるが生産は減少しており、あまり多くないと思われる。沖縄は中旬以降減少してくるため、大きな値崩れのない動きが見込まれる。				
カーネーション	実績	23年	1,768	37	
		24年	2,102	32	
		25年	1,904	43	
		26年	1,816	37	
		27年	1,864	37	
	5ヶ年平均	1,891	37		
28年見通し	1,800	37			
概要	愛知、長野、和歌山から入荷。今年は暖冬だったため、11月から順調に出荷され、母の日、母の日明けに対しても大きな山はなく、そこそ安定単価で推移する。				
かすみ草	実績	23年	256	53	
		24年	259	61	
		25年	267	61	
		26年	258	59	
		27年	247	74	
	5ヶ年平均	257	62		
28年見通し	260	65			
概要	高知、和歌山、熊本からの入荷。母の日前の1週は活発な動き。数量も順調。中旬以降は高冷地との切り替えて、後半は品薄感がある。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	23年	416	144	
		24年	400	144	
		25年	405	156	
		26年	341	140	
		27年	344	143	
	5ヶ年平均	381	145		
	28年見通し	350	145		
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、新潟からの入荷。昨年同様4月の出荷が少なく、母の日ぐらいいから集中しそう。LAも出荷増となる見込み。鉄砲は大きな出荷がないことから少なめな入荷が続く。業務中心の販売、数量次第で厳しい販売になりそう。</p>				
洋 ら ん	実績	23年	386	80	
		24年	349	90	
		25年	451	78	
		26年	374	85	
		27年	368	92	
	5ヶ年平均	386	84		
	28年見通し	375	85		
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡、徳島、輸入ものが入荷。ブライダル、母の日等洋ラン類の引き合いは強くなる。シンビジュームの国産品は終了し、入荷の多かったカトレア、胡蝶蘭の入荷も落ち着き、価格も持ち直す見込み。</p>				
バ ラ	実績	23年	1,012	70	
		24年	1,028	70	
		25年	1,108	73	
		26年	1,000	69	
		27年	969	71	
	5ヶ年平均	1,023	71		
	28年見通し	1,000	70		
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。長野、青森等高冷地も始まっており、母の日ウィークには輸入ものも入り、すべての産地が出荷される。全般的に週末の日柄もよくブライダル需要で、堅調な動きと見込み。</p>				
枝 も の	実績	23年	1,587	40	
		24年	1,611	41	
		25年	1,687	43	
		26年	1,546	44	
		27年	1,513	47	
	5ヶ年平均	1,589	43		
	28年見通し	1,550	45		
概要	<p>愛知、岐阜、静岡を中心に入荷。前半はイベントもあり、特定品目の引き合いは強いが、後半は軟調な推移が見込まれる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	23年	34,160	539	
		24年	49,818	554	
		25年	51,200	516	
		26年	51,251	510	
		27年	26,975	547	
	5ヶ年平均	42,478	530		
	28年見通し	27,000	544		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。母の日は4号、5号サイズで、色はMIX、黄、桃が中心。3.5号の小鉢は生産減。複色系のピカソなどの品種の引き合いが近年非常に強い。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(20.9%)、2位長野(19.3%)、3位愛知(14.5%)となっている。</p>				
ファレス	実績	23年	55,214	1,932	
		24年	61,331	2,228	
		25年	57,985	2,201	
		26年	38,310	2,643	
		27年	42,717	2,577	
	5ヶ年平均	51,111	2,278		
	28年見通し	42,700	2,576		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。昨年と同じく母の日需要に伴い、前半はミディー系がよく売れる。また昨年のデータを見る限り、後半戦になると苦戦が強いられる見込み。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(55.9%)、2位静岡(10.8%)、3位熊本(8.9%)となっている。</p>				
バラ	実績	23年	89,686	355	
		24年	101,151	374	
		25年	108,690	385	
		26年	108,320	380	
		27年	83,294	418	
	5ヶ年平均	96,429	384		
	28年見通し	84,000	417		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。特に3号~3.5号に関しては、昨年同様に母の日の需要は取り引きが活発になる見込み。やはり母の日明けは、厳しい取り引きになると思われる。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(53.4%)、2位愛知(30.4%)、3位その他(9.3%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドロジャン	実績	23年	222,346	675	
		24年	239,420	690	
		25年	246,258	725	
		26年	240,721	742	
		27年	230,997	689	
	5ヶ年平均		247,764	708	
	28年見通し		231,000	688	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。母の日が早い為前半に入荷が集中、例年通り5号中心の動きでバイカラータイプに人気偏る。品種数も多く、ダンスパーティは十分ありそうだが全体の数量としては減少の見込み。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(61.8%)、2位群馬(12.1%)、3位茨城(4.5%)となっている。</p>				
スパティ	実績	23年	40,934	272	
		24年	35,908	298	
		25年	35,112	301	
		26年	38,310	264	
		27年	21,873	278	
	5ヶ年平均		34,419	282	
	28年見通し		22,000	273	
概要	<p>入荷量は昨年より大幅に減少か。特に母の日がらみの需要期での不足が予想される。サイズ別では3~5号がターゲットになるが6号の綺麗どころも必要になる。母の日以降は徐々に落ち着いていく見込み。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(56.6%)、2位愛知(29.1%)、3位岐阜(7.3%)となっている。</p>				
カーネーション	実績	23年	365,580	434	
		24年	402,651	429	
		25年	355,841	428	
		26年	351,450	428	
		27年	347,103	421	
	5ヶ年平均		369,646	423	
	28年見通し		347,000	421	
概要	<p>今年は母の日が一番早いので、需要期が4月へずれ込むと予想。よって5月の入荷量は若干減か。また、暖冬の影響により出荷が前倒しになると予想されるので、直前での品不足が懸念される。それに伴い、相場は比較的安定か。昨年に引き続き、フィナンシェやチェリタルトなど白系覆輪品種が人気で引き合いが強い。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(53.7%)、2位群馬(14.1%)、3位その他(8.2%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2016年)

1 輸出実績

品名	2月						2月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
果実(生鮮・乾燥)	2,185	100.9	1,119,685	109.6	512	106.5	11,530	101	5,295,495	110	459	109
うんしゅうみかん	40	95.4	23,695	104.0	591	110.5	195	95	113,772	104	584	108
りんご	1,955	101.1	715,593	108.0	366	102.2	10,906	101	4,440,842	108	407	108
なし	0	44.3	292	40.5	1,669	288.7	27	44	12,552	41	474	91
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	563,264	152.6	1,089,685	153	...	153
緑茶	389	111.7	887,672	110.4	2,281	99.7	699	112	1,633,081	110	2,337	98

2 輸入実績

野菜(生鮮・冷蔵)	60,215	87.4	8,698,525	99.8	144	121.4	108,984	87	15,993,574	100	147	114
トマト	438	99.0	174,200	99.1	398	106.4	911	99	349,442	99	384	100
たまねぎ	16,201	65.7	1,152,854	91.9	71	139.6	31,384	66	2,282,456	92	73	140
にんにく	1,243	94.5	312,885	115.5	252	126.2	2,923	95	726,311	116	248	122
ねぎ	3,429	90.4	659,090	134.7	192	171.7	7,832	90	1,380,488	135	176	149
ブロッコリー	1,471	77.5	356,639	77.7	243	99.3	1,775	78	435,068	78	245	100
結球キャベツ	911	44.1	42,530	46.5	47	103.8	1,975	44	89,428	46	45	105
にんじん・かぶ	3,484	83.2	166,941	73.4	48	91.5	6,003	83	279,555	73	47	88
ごぼう	3,439	115.4	233,663	133.0	68	121.9	7,159	115	479,527	133	67	115
えんどう	45	57.5	26,682	64.0	591	142.2	105	57	51,176	64	486	111
アスパラガス	1,647	98.1	1,111,622	99.2	675	98.3	2,287	98	1,787,069	99	781	101
まつたけ	-	116.7	-	177.5	-	-	0	117	822	178	4,893	152
しいたけ	233	62.3	85,029	63.6	364	95.8	427	62	160,741	64	377	102
かぼちゃ	14,144	105.7	1,035,683	83.5	73	88.9	26,440	106	2,322,294	84	88	79
果実(生鮮・乾燥)	127,342	110.6	22,226,734	113.7	175	101.7	236,941	111	42,915,286	114	181	103
バナナ(生鮮)	75,776	108.8	7,355,767	116.0	97	107.8	144,367	109	13,730,212	116	95	107
パイナップル(生鮮)	9,893	89.2	986,905	104.1	100	121.6	18,672	89	1,776,037	104	95	117
レモン(生鮮・乾燥)	3,683	101.8	872,077	93.3	237	89.0	7,560	102	1,839,485	93	243	92
オレンジ(生鮮・乾燥)	7,662	137.5	1,190,467	130.9	155	93.9	11,355	137	1,805,247	131	159	95
グレープフルーツ(生鮮・乾燥)	7,779	126.0	1,234,538	134.0	159	107.2	15,288	126	2,460,511	134	161	106
メロン(生鮮)	2,964	127.2	333,854	118.2	113	85.9	4,426	127	565,178	118	128	93
ぶどう(生鮮・乾燥)	3,995	204.8	1,289,624	218.7	643	214.3	7,022	205	2,372,781	219	668	214
キウイフルーツ(生鮮)	614	1889.7	213,635	1841.3	348	-	1,054	-	378,649	-	359	-
いちご(生鮮)	1	194.2	1,740	157.0	1,249	85.5	9	194	9,429	157	1,078	81
切花(生鮮・乾燥)	2,672	98.4	2,437,847	93.9	912	100.1	5,507	98	4,989,254	94	906	95
鳥獣肉類	152,805	112.8	72,620,710	99.2	475	87.2	311,961	113	150,635,025	99	483	88
牛肉(くず肉含む)	33,000	88.3	19,715,985	75.2	597	82.5	60,572	88	37,853,999	75	625	85
豚肉(くず肉含む)	63,623	126.9	33,547,104	119.8	527	94.6	137,067	127	72,309,033	120	528	94
鶏肉	47,444	113.2	11,446,176	87.3	241	76.8	95,865	113	23,894,499	87	249	77
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	116,506	98.9	75,906,442	94.0	652	94.4	252,222	99	167,826,308	94	665	95
まぐろ類	16,667	114.4	13,266,328	95.0	796	77.8	33,985	114	32,430,674	95	954	83
さば・さんま・あじ・いわし	5,866	69.8	1,178,109	62.6	201	88.2	17,626	70	3,495,678	63	198	90

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

※速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

※表中に使用した符号は、次のとおりです。

「 0 」・・・単位に満たないもの

「 ... 」・・・事実不詳

「 - 」・・・事実のないもの

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 <small>(全国平成22年=100) 愛知県平成22年=100)</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	25年 平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年 平均	102.8	99.3	105.8	106.8	112.3
	27年 11月	103.5	98.2	102.7	113.3	116.8
	12月	103.5	96.3	113.0	113.8	118.7
	28年 1月	103.0	101.7	131.5	114.0	118.5
	2月	103.2	108.3	137.5	114.0	117.5
愛 知 県	25年 平均	100.3	100.3	105.6	99.9	105.6
	26年 平均	103.1	100.8	112.1	108.9	110.8
	27年 11月	103.3	99.7	101.6	117.3	115.5
	12月	103.4	96.2	113.4	117.9	117.3
	28年 1月	102.8	101.5	133.1	118.6	116.5
	2月	103.0	109.3	142.2	115.1	117.5

項目 年月		農業物価指数(平成22年=100)				
		農産物 総合	米	野菜	果物	畜産物
25年	平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	26年 平均	102.2	98.8	97.8	93.3	118.4
	27年 11月	99.8	93.6	82.5	93.9	129.9
	12月	110.8	93.7	105.6	126.5	132.9
	28年 1月	113.9	93.7	111.0	150.3	126.8
	2月	120.6	93.6	128.1	153.1	130.8

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国…総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県…愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名古屋市小売価格(円)													
品 目 年 月	「コシヒカリ」 (単一品種以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5kg	1kg										100g	1kg
25年 平均	2,112	147	178	629	457	297	160	388	231	569	695	162	567
26年 平均	2,109	170	190	661	481	321	162	376	276	581	695	162	545
27年 11月	1,851	196	166	555	398	314	135	343	246	554	691	181	487
12月	1,903	129	129	573	434	308	113	352	247	722	586	178	491
28年 1月	1,920	125	114	634	572	311	127	331	232	675	638	189	522
2月	1,896	121	137	692	661	325	142	318	245	676	796	186	535
品 目 年 月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	牛肉(ロース)	豚肉(バラ※)	まぐろ
	1kg		100g	1kg		100g	1本		100g				
25年 平均	581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	794	231	428
26年 平均	584	336	437	174	240	824	530	166	175	336	825	228	440
27年 11月	536	310	459	-	269	847	519	172	170	361	949	244	453
12月	564	480	425	192	259	866	521	177	182	389	973	236	500
28年 1月	675	484	451	213	263	922	521	168	175	347	933	245	475
2月	836	483	472	209	260	1,066	520	173	179	352	867	224	486

※豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)
＝もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.515
平成28年5月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6719